

著作権保護のため掲載できません。

著作権保護のため掲載できません。

(田中修『植物のいのち』による。)

(一) 文中 **I**、**II** に当てはまる語の組み合わせとして、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。

- ア I しかし II あるいは
- イ I たとえば II しかも
- ウ I ところが II そのため
- エ I なぜなら II したがって

(二) 文中 A — 「その根拠は、主に、次の三つに整理できます」とありますが、その根拠について説明したものととして、次のア～エから適切なものを全て選びなさい。

- ア 根拠の一つ目では、根が水のある方向へ伸びる現象について述べている。
- イ 根拠の二つ目では、土と水がないと植物は成長できないことを述べている。
- ウ 根拠の三つ目では、根が伸びるには地球の重力が大きく影響すること述べている。
- エ 三つに整理された根拠は、根には水を求めて伸びる力があることを示すものとなっている。

(三) 文中 B — 「ところが、根の成長はそうではありません」とありますが、筆者は、植物の地上部の成長と地下部の根の成長はどのように異なるかと述べていますか。植物の地上部の成長と地下部の根の成長がそれぞれどのようなか、違いが分かるように、書きなさい。

(四) 本文の中で、筆者は、「根性」という言葉の意味と「根の性質」を重ねて捉えています。筆者が「根性」という語に重なると考えているのは「根の性質」のどのような点ですか、重なる点に触れながら書きなさい。

(五) 本文全体の構成や表現についての説明として、次のア～エから適切なものを二つ選びなさい。

- ア 根拠を順序立てて説明することで、文章の説得力を高めている。
- イ 反対意見に対して一つ一つ反論し、自分の主張を正当化している。
- ウ 難解な専門用語を多用することで、格調の高い文章となっている。
- エ 複数のデータを詳細に比較した上で、最後に問題提起をしている。

オ 客観的事実や現象だけでなく、筆者の主観的な見方も示されている。

著作権保護のため掲載できません。

著作権保護のため掲載できません。

著作権保護のため掲載できません。

(天沢夏月『ヨンケイ!!』による。)

(注) 雨夜……エース区間の二走を走るメンバー。 サーフェス……走行面
サトセン……陸上部の顧問。 酒井……陸上部の部員。

(一) 文中□に当てはまる語句として、次のア～エから最も適切な
ものを選びなさい。

- ア リレーはタイム
- イ リレーはバズル
- ウ 一走はブースター
- エ 二走はロケット

(二) 文中A——「鼻を鳴らす」という表現は、「俺」のどのような様子

を表していますか、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。

- ア 得意に思っている様子。
- イ 不満を感じている様子。
- ウ 心が落ち着いている様子。
- エ 相手の機嫌をうかがう様子。

(三) 文中B——「ただバトンを繋げばいいだけじゃないんだ」とあり
ますが、「兄」が「俺」に伝えたい内容として、次のア～エから最も
適切なものを選びなさい。

- ア バトンに込められた思いに気づいてこそ、感動的なリレーになる。
- イ 夢や希望を仲間と共有できるかどうかで、リレーの価値が決まる。
- ウ バトンをスムーズに渡す美しきこそが、本物のリレーの良さである。
- エ 本物のリレーをするには、お互いのことを深く理解する必要がある。

(四) 文中I——「どこまでも本命の前座ってワケだ」と、II——「エース
の前座。そんな気持ちで一走を走ってたら、きっと雨夜というロケット
は飛ばない」という表現から、「俺」は自分が一走を走ることが、
どのように受け止めていると考えられますか、まとめて書きなさい。

(五) 文中C——「いいよ別に。本物のリレーなんか……」に込められた
「俺」の心情を説明したものととして、次のア～エから最も適切なもの
を選びなさい。

- ア 兄の過去と自分を結び付け、前向きな気持ちを抱いている。
- イ 兄の助言を理解しながらも、素直に認められない部分がある。
- ウ 仲間よりも、自分が速く走ることだけに集中したい思いがある。
- エ 自分の気持ちを分かってもらえず、兄に対して嫌気がさしている。

三 次の文章を読んで、後の(一)、(二)の問いに答えなさい。

太田左衛門大夫持資は上杉宣政の長臣なり。鷹狩に出て雨に

逢ひ、ある小屋に入りて蓑を借らんといふに、若き女の何とも

物をば言はずして、山吹の花一枝折りて出しければ、「花を求むる

にあらず。」とて怒りて帰りしに、これを聞きし人の、「それは、

七重八重花は咲けども山吹のみの一つだになきぞ悲しき

といふ古歌のころなるべし。」といふ。持資驚きて、それより

歌に志を寄せけり。

〔常山紀談〕による。

(注) 太田左衛門大夫持資、上杉宣政……いずれも室町時代の人。

長臣……重要な職務にある家臣。

鷹狩……鷹を使って行う狩り。

蓑……わらなどを編んで作った雨具。

(一) 文中「言はず」を現代仮名遣いで書きなさい。ただし、全て平仮名で書くこと。

(二) 次の会話文は、春輝さんたちが、本文について話し合ったときの会話の一部です。これを読んで、後の①、②の問いに答えなさい。

春輝さん 「持資」が「若き女」に対して怒ったのはどうしてだろう。

夏斗さん それは、「持資」が蓑を借りようとしたのに、「若き女」が何も答えずに I からでしょう。

秋世さん 確かにこの行動は不思議だよね。これってどういうことなのかな。

冬香さん それが「古歌のころ」と関係してくるわけでしょう。

夏斗さん 本文の中に出てくる和歌は、昔の人がよんだもので、

多くの花を咲かせるけれど実を付けないという山吹の特徴を踏まえているんだよね。

秋世さん そうか。「みの一つだになき」という言葉があるけれど、

これには、「II」という意味と「蓑が一つもない」という二つの意味が込められているということだね。

冬香さん そういうことになるね。だから「若き女」の行動には意味があったんだ。

春輝さん 最後の一文に「持資驚きて」とあるから、「持資」はその意味を知って本当に驚いたんだろうね。

冬香さん 調べてみると、古文に出てくる「驚く」は、「はっと気づく」という意味で使われることも多いんだって。

それを考えると、III ということになるよね。

春輝さん なるほど、そうだね。「持資」の気持ちが伝わってくる気がするよ。

① 会話文中 I、II に当てはまる内容を、本文から考えて、それぞれ現代語で書きなさい。

② 会話文中 III に当てはまる内容として、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。

ア 「若き女」がよんだ和歌に感動し、古い歌が持つ趣深さとおもしろさに気づいた

イ 「若き女」とのやり取りを通して、自分の教養のなさを知るとともに和歌の奥深さに気づいた

ウ 「若き女」の優しい気持ちに触れることで、一緒に和歌を作ってみたいという自分の恋心に気づいた

エ 「若き女」の行動が自分の真意を探るためであったと分かり、人を見かけて判断すべきでないと気づいた

春輝さん 「持資」が「若き女」に対して怒ったのはどうしてだろう。

夏斗さん それは、「持資」が蓑を借りようとしたのに、「若き女」が何も答えずに I からでしょう。

秋世さん 確かにこの行動は不思議だよね。これってどういうことなのかな。

冬香さん それが「古歌のころ」と関係してくるわけでしょう。

夏斗さん 本文の中に出てくる和歌は、昔の人がよんだもので、多くの花を咲かせるけれど実を付けないという山吹の特徴を踏まえているんだよね。

秋世さん そうか。「みの一つだになき」という言葉があるけれど、これには、「II」という意味と「蓑が一つもない」という二つの意味が込められているということだね。

冬香さん そういうことになるね。だから「若き女」の行動には意味があったんだ。

春輝さん 最後の一文に「持資驚きて」とあるから、「持資」はその意味を知って本当に驚いたんだろうね。

冬香さん 調べてみると、古文に出てくる「驚く」は、「はっと気づく」という意味で使われることも多いんだって。

それを考えると、III ということになるよね。

春輝さん なるほど、そうだね。「持資」の気持ちが伝わってくる気がするよ。

四 次の文章は、漢文を書き下し文に書き改めたもので、陳の国を攻め取ろうと考えた楚の国の莊王が、使者に陳の国の様子を視察させ、その結果を報告させた場面のものです。これを読んで、後の(一)～(三)の問いに答えなさい。

使者曰はく、「陳は伐つべからざるなり。」と。莊王曰はく、「何の故ぞ。」と。対へて曰はく、「其の城郭は高く、溝壑は深く、蓄積は多く、其の国は寧し。」と。王曰はく、「陳伐つべきなり。夫れ陳は小国なり。而るに蓄積多し。蓄積多ければ、則ち賦斂重く、賦斂重ければ、則ち民上を怨む。城郭高く、溝壑深ければ、則ち民力罷れん。」と。兵を興して之を伐ち、遂に陳を取る。

〔説苑〕による。

(注) 城郭……城壁。

溝壑……城の堀。

蓄積……備蓄。

寧し……穏やかである。

夫れ……そもそも。

賦斂……租税。

上……陳の王のこと。

罷……「疲」に同じ。

五 次の(一)～(三)の問いに答えなさい。

(一) 次の①～④の——の平仮名の部分を漢字で書きなさい。

- ① 釣り糸をたらす。
- ② もうすぐ日がくれる。
- ③ しきゅう、連絡してほしい。
- ④ けんぱい機できつぷを購入する。

(二) 次の①～④の——の漢字の読みを平仮名で書きなさい。

- ① 進行が滞る。
- ② 目標を掲げる。
- ③ 材料を吟味する。
- ④ 若干の余裕がある。

(三) 次の漢字の部首名を書きなさい。また、この漢字を楷書で書いた場合の総画数を書きなさい。

権

(一) 文中——「兵を興して之を伐ち」は、「興兵伐之」を書き下し文に書き改めたものです。「兵を興して之を伐ち」という読み方になるように、「興兵伐之」に返り点を書きなさい。

(二) 文中——「其の城郭は高く、溝壑は深く、蓄積は多く」について、次の表は、使者の報告と、それに対する莊王の考えを整理したものです。①、②に当てはまる内容を、それぞれ現代語で簡潔に書きなさい。

| | | |
|-----|------------------------|-------|
| | 使者の報告 | 莊王の考え |
| 結 論 | 「其の城郭は高く、溝壑は深く」「蓄積は多く」 | ① |
| 結 論 | 「陳は伐つべからざるなり」 | ② |

(そうであるならば)

↓

租税が重いはずであり、

(三) 本文で述べられている内容についての説明として、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。

- ア 使者は、平和を維持するために戦いは避けるべきだと莊王を説得した。
- イ 莊王は、使者の報告にうそが含まれることを鋭く見抜くことができた。
- ウ 使者は、莊王の判断に納得がいかず、陳への攻撃には参加しなかった。
- エ 莊王は、陳が小国であることを踏まえ、陳の状況を論理的に推測した。

六 次の会話文は、竹志さんたちが、中学校の図書委員会で、校内の読書活動の推進について話し合いをしたときの会話の一部です。これを読んで、後の(一)、(二)の問いに答えなさい。

竹志さん ここ数年のデータを見てみると、最近、学校の図書館の貸し出し冊数が減っているみたいだよ。

小梅さん 「読書離れ」などと言われることもあるし、みんな本を讀まなくなっているのかもしれないね。

松子さん 確かにそうかもしれないね。でも、図書館では借りずに、本を書店やインターネットで買って読んでいる人もいると思うな。

小梅さん 実際はそうなのかもしれないね。でも、図書館にも良い本がたくさんあるから、みんなに手に取ってほしいな。

松子さん 本を讀む人にも讀まない人にも、読書をする^Iことの楽しさや意義を改めて伝えたい気がするね。まずは、全校生徒にアンケートをして、みんなの読書の実態を把握するというのはどうかな。

竹志さん なるほど、いいかもしれないね。あわせて、読書をする^Iことの楽しさや良さについても、みんなに考えてもらいたい気がするな。

小梅さん それなら、読書をする^{II}ことの良いところを図書委員会で考えて、アンケートの中でいくつか示してみるのはどうだろう。そのうえで、一人一人に自分の考えに近いものを選んでもらえば、読書のきっかけにもなるだろうし、今後の図書委員会の活動の参考にもなると思うよ。

(一) 会話文中Ⅰ―について、松子さんは、読書の実態を把握するための質問をいくつか作成しましたが、次の質問①、②については、図書委員会での検討を踏まえ、修正することになりました。質問①、②は、どのような点を修正したと考えられますか。質問の(修正前)と(修正後)を比較し、質問①、②の修正した点について、後のア～オから最も適切なものをそれぞれ選びなさい。

質問①

(修正前) あなたは、最近、何冊本を讀みましたか。

(修正後) あなたは、九月の一月間に何冊本を讀みましたか。

質問②

(修正前) あなたは、本を讀む場合に、学校の図書館で本を借りたり書店で本を購入了りしますか。

(修正後) あなたは、本を讀む場合に、書店で本を購入しますか。

ア 答えを一方に誘導する可能性があった点。

イ 受け取り方に幅が生まれる語を使っていた点。

ウ 一つの質問の中で二つの事柄を聞いていた点。

エ 質問する事柄が調査の目的と合っていないかった点。

オ 専門的な用語が多くて意味が分かりにくかった点。

(二) 会話文中Ⅱ―について、次のA～Cは、竹志さんたちがアンケートの中で示した、読書をする^Iことの良いところとして考えられる事柄の一部です。A～Cの中から、読書をする^Iことの良いところとして、あなたの考えに最も近いもの一つを選び、あなたがそのように考える理由を、自分の経験を含めて、百四十文字以上、百八十文字以内で書きなさい。なお、選んだ記号に○を付けること。

A 豊かな言葉や表現を学べるところ。

B 想像力や空想力を養えるところ。

C 内容を把握する力が付くところ。